

## 絵入本ワークショップIXの開催にあたって

絵入本学会 代表委員 横井 孝

ご挨拶としてあまりにも定型すぎると思いますが、絵入本ワークショップIXを開催できることを、深く感謝いたします。第一回から関わっている一人として思いますのに、常に諸方面のかたがたのご協力なしには、今日に至らなかったであろうということです。特に今回は、東洋文庫の全面的なご協力のお蔭で、会場はもとより内容のさまざまな点が充実したものになりました。

絵入本ワークショップは「絵入本」を唯一のキーワードとして、さまざまな境界・領域を乗り越えて結集される、絵入本学会の活動拠点です。上代中古から近世近代までカバーしながら、「絵入本」という接点で議論しあえる場というのも、なかなか他にはないのではないのでしょうか。

たとえば、「絵因果経」のごときものの淵源をさぐってゆけば、遠く古く海彼の国にたどり着いてしまいそうですし、大和文華館と徳川美術館に分蔵する「白描源氏物語絵」などは、まさしく一般のひとの思い描く「絵本」の形態の最も古い例ということになります。さらに、中世には文字通りの「奈良絵本」があり、江戸時代は諸形態の絵入本にあふれています。近代文学は、初期の美しい木版画を挿入した本があり、いわゆる鏡花本のような豪華な装幀の本があります。これらについての発表が、それぞれの専門の分野の研究者たちの議論を誘発するという情景は、まさに胸躍るたのしさがあります。これまでは、発表をお誘いするにあたって時間的制約のあることが重なったりして、分野に偏りが生じることもま

まりました。たとえば、前々回「Ⅶ」を二〇一四年十二月に開催した折には、同志社大学の山田和人教授に急遽会場校をお願いしましたし、前回「Ⅷ」（二〇一五年十二月）は予定していた会場が間際に使用できなくなり、これも辛うじて実践女子大学で開催するということでしたので、実務上の都合で近世文学主体のワークショップにならざるをえませんでした。

今回は、絵入本学会の初代代表の山本登朗・関西大学教授のご奔走により、複数の方々による『伊勢物語』関連の研究発表を揃えることが出来ました。従来どおり、近世の充実したご発表もあります。ご参集の皆さまには、ぜひ絵入本の醍醐味をご堪能いただきたいと思います。

#### 絵入本学会役員

##### ■運営委員

横井 孝(代表 実践女子大学教授)  
岡崎礼奈(東洋文庫研究員)  
神林尚子(鶴見大学専任講師)  
河合眞澄(大阪府立大学教授)  
北川博子(あべのハルカス美術館)  
クリストフ・マルケ(フランス国立東洋言語文化大学教授)  
河野龍也(実践女子大学准教授)  
小林ふみ子(法政大学准教授)  
高木 元(大妻女子大学教授)  
高杉志緒(下関短期大学准教授)  
田中 登(関西大学教授)  
ティモシー・クラーク(大英博物館)

中谷伸生(関西大学教授)

廣瀬千紗子(同志社女子大学教授)

三宅宏幸(愛知県立大学准教授)

山本 卓(関西大学教授)

山本登朗(関西大学教授)

ロバート・キャンベル(東京大学教授)

##### ■編集委員

クリストフ・マルケ

服部 仁(同朋大学教授)

山田和人(同志社大学教授)

山本 卓

横井 孝

# 絵入本ワークショップⅨプログラム

二月一〇日(土)

■開会のごあいさつ

東洋文庫文庫長 斯波義信

■研究発表

司会 学習院大学(院) 関彩与子

奈良絵本挿絵の彩色材料の科学的分析

総合司会 慶応義塾大学SBM研究所顧問 日比谷孟俊

料紙からみた絵入本出版事情

東洋文庫研究員、龍谷大学名誉教授 江南和幸

■休憩

学習院女子大学ほか(非) 白戸満喜子

■研究発表

司会 学習院大学(院) 関彩与子

総合司会 実践女子大学教授 佐藤 悟

江戸時代の三国志物における『絵本通俗三国志』の位置づけ―挿絵を手がかりに―

虎狩・退治図から見られる日中韓の図柄の交流



元智大学助理教授 梁 蘊嫻

明知大学教授 崔 京国

■休憩

■研究発表

司会 学習院大学(院) 関彩与子  
総合司会 東洋文庫主幹研究員 牧野元紀  
漢文文化圏から見たベトナムの漢籍における絵入り本について  
——『如来応現図』を中心に——

ベトナム社会科学アカデミー准教授 グエン・ティ・オワイン

ベトナム社会科学アカデミー漢喃  
研究所・『漢喃雑誌』総編集副長  
グオン・ティ・フオン

パリに渡ったフィッセルとシーボルト旧蔵の和本

——十九世紀の日蘭仏における書物交流を考える——

フランス国立東洋言語文化研究院教授 クリストフ・マルケ

■懇親会

二月一日(日)

■ご挨拶

■研究発表

司会 十文字学園女子大学助手 谷嶋美和乃、総合司会 東洋文庫研究員 岡崎礼奈  
絵入百科事典の系譜と展開——『訓蒙図彙』を中心に——

国際日本文化研究センター特任助教 石上阿希

東洋文庫常務理事 平野健一郎



津田青楓の図案作品―京都の年代―

関西大学名誉教授 スコット・ジョンソン

■休憩

■研究発表

司会 十文字学園女子大学助手 谷嶋美和乃

住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」の図様について

神戸松蔭女子学院大学教授 田中まき

伊勢物語絵に描かれた建築空間

―住吉如慶にみる復古表現と同時代表現―

岩手県立大学講師 赤澤真理

■休憩

■研究発表

葛岡宣慶と『伊勢物語』

国文学研究資料館機関研究員 藤島 綾

『異本伊勢物語絵』第九段「宇津の山」について

―異時同図の留守文様の一例として―

霞会館学芸員 大口裕子

■閉会のあいさつ

実践女子大学 佐藤悟



